

## 第6回認知症の支援に関する意見交換会

テーマ：『認知症患者 地域包括支援センターとの連携』

講師：ゆずりは訪問診療所 院長 屋宜 亮兵 氏

○日時：令和6年11月12日（火） 午後7時00分～9時00分

○場所：那覇市医師会・4階ホール

○参加者：35名

《認知症サポート医・認知症専門医：7名、歯科医師：3名、  
那覇市地域包括支援センター：14名（うち認知症地域支援推進員：12名）、その他：11名》

【目的】地域包括支援センター、認知症サポート医・かかりつけ医、認知症疾患医療センター等が連携し、認知症高齢者の早期支援につなげ、支援者同士が気軽に相談・助言し合えるネットワークを構築する。

【対象】認知症サポート医、認知症専門医、認知症地域支援推進員、認知症疾患医療センター、認知症の支援に興味のある医師・歯科医師、行政など

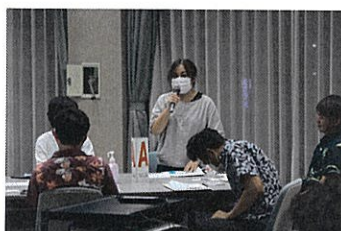
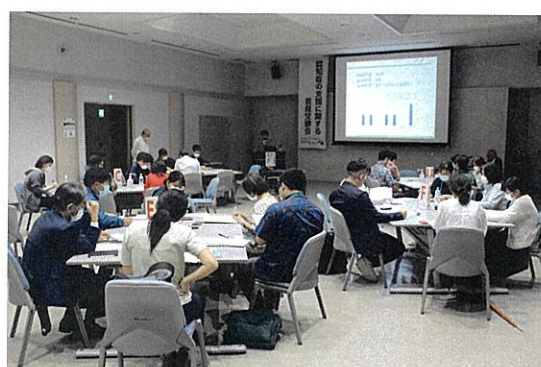
【考察】講演内容について、90%の参加者が参考になったとのことがあった。今回は、講師が訪問診療で関わった2事例に関してグループワークを行ない、参加者より「支援者の比較ができる症例で、深く意見交換することができた」、「それぞれの職種、所属にて役割やアセスメントの視点が学べた」などの感想があった。また、地域の支援者より「医師と直接会話ができる機会は重要」、「医師のご意見は目からウロコの言葉が多くあった」、「医師と気軽に話すことができ、とても有意義だと感じた」等の感想が寄せられ、今後も上記目的を達成するため、認知症の支援に関心のある医師の参加をお願いしていきたい。更に沖縄県の担当者や浦添市の医師・支援者の参加者もあり、参考にしたいとの話があった。



講師：屋宜 亮兵 氏



司会：上間 一 氏



グループワーク①：各専門職の立場から、どのような支援が出来たか

グループワーク②：日頃、認知症の支援で困っていることや取り組んでいることについて自由討論

令和6年11月12日(火) 19:00~21:00 那覇市医師会・4階ホール

**テーマ『認知症患者 地域包括支援センターとの連携』**

ゆずりは訪問診療所 院長 屋宜 亮兵 氏

参加者：35名 《認知症サポート医・認知症専門医：7名、  
認知症の支援に関心のある医師：0名、歯科医師：3名、  
地域包括支援センター：14名（うち那覇市認知症地域支援推進員：12名）、  
その他：11名》

アンケート回答者：20名（回収率：57%）

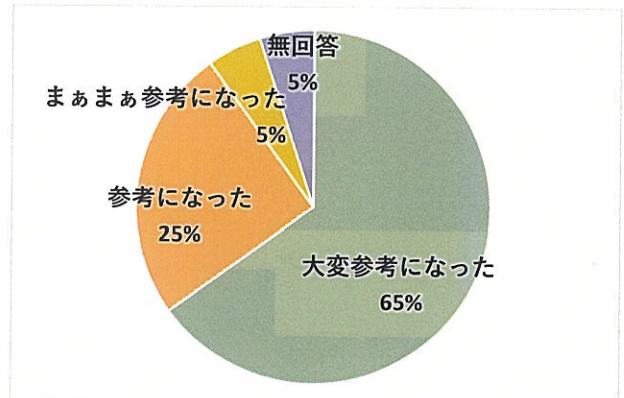
**1. 職種について**

経験年数	人数	割合
認知症サポート医／認知症専門医	5	25%
その他医師	0	0%
歯科医師	1	5%
認知症地域支援推進員	8	40%
その他	6	30%
総計	20	100%



**2. 講話『認知症患者 地域包括支援センターとの連携』は参考になりましたか。**

選択肢	人数	割合
大変参考になった	13	65%
参考になった	5	25%
まあまあ参考になった	1	5%
あまり参考にならない	0	0%
無回答	1	5%
総計	20	100%



- ・本人の意思をどこまで尊重できるか症例1、2で特徴的だった。ひとり暮らしでも身内が県内にいるケースと県外にいるケースでは支援者の関わり方が変わってくると思う。
- ・実際に診療に入られている先生のお話しが参考になりました。
- ・訪問診療の依頼のイメージがついた。関わり方が参考になった。
- ・訪問診療は大変だと思った。
- ・良い悪いではなく、支援の早さや介入する支援者の比較できる症例で、グループワークのなかで深く意見交換することができました。
- ・先生の「本人さんの意志を大事にする」とのお話し、本当に大事だと思いました。最近「この人が倒れたら大変」とか「薬ちゃんと飲めてないから」と訪問看護を入れたがる支援者がいて、でも本人は「まだいい」と言っているけど、「説得できない包括が悪い」ということを言われてモヤモヤしていたので、先生のお話しでスッキリしました。

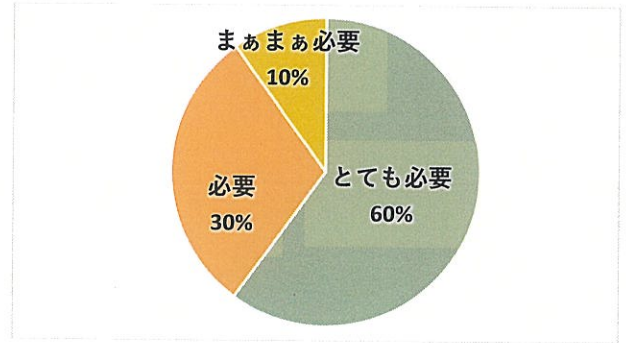
- ・訪問診療を活用したいと思った。
- ・具体的なケースだったので、グループワークが楽しくできた。
- ・先生の事例で具体的なお話しが聞いて良かったです。実際にあった事例なので考えやすかった。
- ・信頼関係の大切さを改めて気付かされた。本人のペースで関わると一番良い。事前対応が出来る  
と良い。
- ・Cグループの発表の中で、誰のための支援なのかという発表が心に残りました。
- ・本人の望む暮らしを本人が元気な時から聞き取っていく工夫も必要だけど、いつ誰がやるのか。
- ・医学の部分ではしっかり支援が出来ていました。

### 3. グループワークはいかがでしたか。

- ・包括メンバーのお話しがとても良かったです。インフォーマルサポート大切ですね。
- ・それぞれの職種、所属にて役割やアセスメントの視点を学びました。
- ・それぞれの立場からの発言が聞いて良かったです。自分だけでは思いつかないような発想も聞  
けて良かったです。
- ・様々な職種から意見を聞いて視野が広がったと思います。本人の意向を大切にしながら、可能な  
限り支援ができたらと考えさせられました。
- ・先生方の意見がとても参考になりました。
- ・屋宜先生に来て頂けて嬉しかったです。ありがとうございました。
- ・他職種の意見を聞くことは勉強になった。
- ・多職種で話し合うことが出来て有意義でした。後半の自由なグループワークもテーマに縛られず  
に話し合うことができて良かったです。
- ・遠慮のない意見が出て、とても良かったです。
- ・色々な意見が聞いて勉強になりました。
- ・専門医の先生方から貴重な意見が聞いて参考になった。
- ・成功、失敗例問わず、1つの事例を多くの視点で議論すると、色々な考え、見方を共有するこ  
とが出来て良かった。
- ・色々な立場でのお話しが聞け、また色々な話を共有でき、充実したグループワークができて楽し  
かったです。
- ・医師の方々のご意見は目からウロコの言葉が多くありました。包括で関わっている皆様のご意見  
は共感することも多くありました。
- ・立場の異なる方達と有意義な意見交換が行なえたと思う。
- ・各職種の業務を少しは知ることが出来ました。

#### 4. 今後、このような意見交換会が必要だと感じますか。

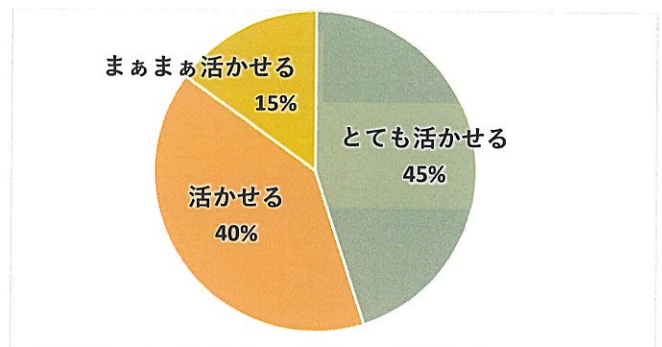
選択肢	人数	割合
とても必要	12	60%
必要	6	30%
まあまあ必要	2	10%
必要ではない	0	0%
総計	20	100%



- ・ ACPの考え方が浸透して医療関係者、支援者が早めから関わることや本人の意見の尊重等の福祉の視点を共有出来ていることを感じた。
- ・ 多職種間で意見交換できる機会は大切だと思います。
- ・ やはり色々な考え方や職種の意見が共有できるので継続して頂きたいです。
- ・ 医師と直接お話しができる機会は重要だと感じた。
- ・ 時々でいいのでお隣の市町村も混ぜて欲しいです。
- ・ 医師の先生方と気軽に話すことができ、お互いの立場、取り組みを行なうことができ、とても有意義だと感じています。
- ・ 色々な意見が聞けて大変勉強になりました。
- ・ 顔が見れるつながりは重要だと感じた。
- ・ 参加できて良かったと感じた。
- ・ 症例を通すと話しやすい。
- ・ 毎月やってもいいかと思います。

#### 5. 明日からの業務に活かそうですか。

選択肢	人数	割合
とても活かせる	9	45%
活かせる	8	40%
まあまあ活かせる	3	15%
あまり活かさない	0	0%
総計	20	100%



- ・ 今回のような機会を重ねることで着実に医療・介護の連携が深まっていると感じる。
- ・ 偏った自分の視点を内省し、改めてより良い関わりを考えるきっかけになりました。
- ・ 誰にとっての何の支援なのか。
- ・ 本日頂いた資料、明日早速包括内で共有します。
- ・ 広い視野を持って支援したい。
- ・ 浦添市から勉強に来てよかった。

**6. 今回の意見交換会全体を通してのご意見・ご感想、また「認知症の支援」に関する希望するテーマがありましたらお聞かせ下さい。**

- ・ 認知機能の低下の軽い時に福祉に繋げる工夫、制度があると良いと思いました。一般の人達は、軽い認知機能低下がいかなるものか、判断は困難だと思います。具体的にどのような症状の時に福祉につなげるか等の広報も必要と思います。
- ・ 歯科やSTの方より、口腔面からの認知症予防や認知症の方へのアプローチ等について学ぶ機会があればありがたいです。
- ・ 参加させて頂けて良かったです。ありがとうございました。
- ・ 自分が高齢になった時に何をどんな支援を希望するか考える時、一般的に必要と言われていることが必ずしも一致しないかも…色々考えさせられました。
- ・ 北部地区での大雨のように地域包括支援センターの対応についても話が聞けて良かったです。
- ・ 受診前の医療相談→認知症疾患医療センターの相談窓口もご活用頂きたいです。
- ・ 看取りの話になると、どうしても晩年の対応に視点がいくのですが、「終わりよければ全てよし」ではなくて良いと思えるような社会になれると良いと思う。例えば、「最期は今一つだったけど素晴らしい人生だった！」という考え方が普通になると良いと思うがいかがでしょうか？
- ・ 認知症疾患医療センターが困るケースの紹介をしたいです。
- ・ グループワークのような意見交換会の時間を多く作って頂きありがとうございました。カフェみないに、お茶お菓子を食べながら雑談タイムもあると良いかもしれません。
- ・ MCIの方の支援方法について。レケンビが承認されたことで、MCIの具体的な症状、事例等について多くを知っておく必要があるのではないかと感じています。
- ・ 毎回振り返り出来て、私にとっては学びになります。機会を作って頂きありがとうございました。
- ・ 若年性認知症の勉強会もして欲しいです。
- ・ ACPの流れを勉強したい。